

「お父さんへ」

第2回 KYOTO KAKIMOTO 恋文大賞[®]

手紙(文章)部門 <高校生の部>

お父さん元気ですか。あれからお風呂とコンロをオール電化にしました。トイレも一緒に買い替えました。

あと、庭に小さなロフトが出来て今はそこに洗濯物を干しています。

お父さんがしていた庭の草むしりはお母さんがしています。

あ、お母さんと姉ちゃんは相変わらず元気です。

お母さんは強がっているところがあるかもしれないけど。

お父さんの孫、悠斗と拓斗は随分身長が伸び、

中身もちゃんと成長しています。可愛いです。

私は涙脆くなりました。涙をこらえるのに必死になります。

そして、お父さんがいなくなってから将来の夢が変わりました。

前は音響の仕事をしたかったけど、今はカウンセラーになりたいです。

お父さんみたいな思いをする人がいないように

しっかりと心の支えになってあげたいです。

あの時の自分は無知でどのような言葉をかけたらいいいのか分からず

本当後悔ばかり残っています。

きつと後悔をうめるためにもカウンセラーになりたいのです。

これが生きている時の夢です。

私は死んでも夢があります。

それはお父さんを一発殴ることです。

まだ甘えたい私を置いて死んだのだから殴ります。

絶対に謝りません。

だから今のうちにお願いしときます。

いろいろ文句を言うと思いますが殴り返さないでください。

謝らないでください。

そして優しく抱き締めてください。

甘えられなかった分甘えさせてください。

そして、私は残りの人生を大切に生きます。

お父さんの前に堂々と立てるように立派に生きます。

だからそれまでは生まれ変わらず待っていてください。